



大きなジャガイモがとれました！

9月9日 美幌保育園イモ掘り体験

園児たちは美幌高校の生徒や先生からサポートを受けながらイモ掘りを体験。「わーっ!」「あった!」「とれた!」と歓声を上げて大喜びでした。

びほろ町

ぎかい

9月定例会のあらまし

行政報告	2P
補正予算など	3P
決算審査特別委員会を設置・意見書 ..	4P

こんなことを聞きました

一般質問 9人登壇	4P
-----------------	----

こんなことを決めました

7月臨時会	14P
-------------	-----

議会ICT化を推進します

タブレットを使用した議会が始まりました ..	14P
------------------------	-----

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.246 令和4年11月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



9月定例会のあらまし

- 【13日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（松浦・藤原・戸澤・馬場）が一般質問に登壇し、少子化対策、公共トイレ、総合防災訓練、木育、駐屯地、物価高騰対策支援事業、学校図書館、新型コロナウイルス感染症対応などについて活発な議論が交わされました。
- 【14日】議員5名（木村・坂田・上杉・大江・岡本）が一般質問に登壇し、移住定住、教育行政、宿泊施設誘致と企業立地促進条例、図書館整備、無加温ハウス野菜栽培、国民健康保険税子ども均等割などについて活発な議論が交わされました。
- 【15日】議案審議に入り、専決処分の承認、人事案件（人権擁護委員の推薦）、条例の新規制定・一部改正・廃止、補正予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・公共下水道特別会計・病院事業会計）を審議し、いずれも原案どおり可決しました。次いで、令和3年度各会計決算認定について決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。その後、2件の意見書案を可決し、6件の報告を受け、議員の派遣、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附について

稲美の大井恵子様から、墓園の管理などに役立てていただきたいと100万円のご寄附をいただきました。ご厚志がありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用してまいります。

◆新型コロナウイルスワクチン感染症に係るワクチン接種について

本町における新型コロナウイルスの感染者の状況は、7月17日からの1週間で36名、7月24日からの1週間で80名、7月31日からの1週間では130名と感染者が急拡大し、その後も8月7日からの1週間で112名、8月14日からの1週間では112名と、感染者数は高止まりが続いており、さらなる拡大が懸念されていたところであります。

今一度、基本的な感染防止行動の徹底を図り、感染拡大の未然防止に努めることが重要であると考え、帰省や旅行で人流が増加する8月12日と8月19日には、紙面を通じて、改めて町民のみなさまへ「感染拡大防止に向けたお願い」のメッセージを発信したところであります。

また、これまで町民のみなさまの不安を解消するため、研究用検査キットの無料配付を行ってまいりましたが、8月22日に在庫が無くなったことから、新たに医療用抗原定性検査キットを購入し、濃厚接触者や感染の可能性がある方などに薬局を通して無料で配付し、集団感染の未然防止と町民のみなさまの不安を解消し、安心して生活できる環境を維持しているところであります。

4回目のワクチン接種状況は、美幌医師会をはじめ、各方面のみなさまのご協力のもと、7月11日から医療従事者及び介護従事者を対象に、7月30日からは60歳以上の方及び基礎疾患を有する18歳以上の方を対象に実施しており、8月21日現在の接種終了者は3,102名で、接種率は38.2%となっており、引き続き、対象となる方が速やかに接種を完了できるよう取り組んでまいります。

政府は8月8日、高齢者の重症化を防ぐとともに、若い世代も含め社会全体の免疫を上げるため、2回目までの接種を終えた方を対象に、オミクロン株対応ワクチン（従来型とBA.1に対応した2価ワクチン）の追加接種を、10月中旬以降の開始を目標に実施することとしております。感染力の強いオミクロン株に対応していることから、感染拡大防止に効果があるものと考えられますので、国が接種方針を示した後、速やかに接種ができるよう取り組んでまいります。

長きにわたる新型コロナウイルスとの闘いではありますが、基本的な感染対策である三密の回避、ワクチン接種の推進により、「感染をさせない」「感染をしない」を徹底し、「ウイズコロナ」の時代を乗り越えてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

専 決 処 分 の 承 認

- ◆令和4年度美幌町一般会計補正予算（第6号） 639万2千円
新型コロナウイルス感染症対策に係る医療用検査キット購入のため
急を要し専決処分をしたことを承認しました。



人 事 案 件

推薦の決定がされました。

- ◆人権擁護委員候補者の推薦
永井 英俊 氏（新）

条例の新規制定・一部改正・廃止

すべて原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

- ◆美幌町議会議員及び美幌町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
公職選挙法施行令等の改正に伴い、町議会議員及び町長の選挙運動の経費に係る公費負担限度額を引き上げるための改正
- ◆美幌町手数料徴収条例の一部改正
長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律が施行され、良質な既存住宅は増改築行為がなくても長期優良住宅として認定する制度が創設されるため、手数料などを改正
- ◆美幌町墓園等条例の一部改正
合同納骨塚に墓誌を新たに設置することに伴い使用料などを改正
- ◆美幌町産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の廃止
根拠法が平成29年7月に改正され、経過措置期間満了による条例の廃止
- ◆美幌町企業立地促進条例の制定
町の産業の振興及び雇用機会の創出を図ることを目的として、町内に工場等を新設又は増築しようとする企業の立地を促進するため、新たに条例を制定



合同納骨塚

補 正 予 算

すべて原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

- ◆一般会計
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施に係る関連経費 1億2,157万8千円
 - ・ふるさと寄附金関連経費 1億円
 - ・燃料価格高騰に伴う貨物運送事業者に対する支援 1,205万5千円
- ◆国民健康保険特別会計
過年度国民健康保険給付費等返還金の増額 881万5千円
- ◆介護保険特別会計
過年度介護給付費返還金の増額 1,397万6千円
- ◆公共下水道特別会計
下水終末処理場の電気料の増額 1,077万9千円
- ◆病院事業会計
医療関係者間コミュニケーションシステム導入に係る経費の増額など 330万円



新型コロナウイルスワクチン



ふるさと寄附金

令和3年度各会計決算認定は特別委員会を設置し付託

令和3年度一般会計、特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・個別排水処理）及び水道・病院事業会計の決算認定について、特別委員会を設置して付託。

次のとおり委員を選任し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

審査結果については、次の議会において報告し、審議する予定です。

一般会計等決算審査特別委員会

委員長 藤原 公一	副委員長 松浦 和浩
委員 高橋 秀明	委員 稲垣 淳一
委員 伊藤 伸司	委員 木村 利昭

企業会計決算審査特別委員会

委員長 戸澤 義典	副委員長 上杉 晃央
委員 坂田 美栄子	委員 岡本 美代子
委員 大江 道男	委員 馬場 博美



委員会報告に向けた書類審査の様子



2件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和4年9月定例会では、2件の意見書案を可決し、国等の関係機関へ提出しました。

1 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【提出先】内閣総理大臣 外

2 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

【提出先】北海道知事 外

一般質問

には9人が登壇

質問者と質問項目

■松浦 和浩 議員 …… 5頁 ① 未来を拓く少子化対策	■上杉 晃央 議員 …… 11頁 ① 宿泊施設誘致と企業立地促進条例の考え方 ② 図書館整備基本構想
■藤原 公一 議員 …… 6頁 ① 公共トイレの設置 ② 総合防災訓練 ③ 木育	■坂田美栄子 議員 …… 10頁 ① 教育行政
■戸澤 義典 議員 …… 7頁 ① 美幌駐屯部隊充実整備期成会の活動 ② コロナ禍における物価高騰対策支援事業	■木村 利昭 議員 …… 9頁 ① 移住定住促進によるまちの活力向上
■馬場 博美 議員 …… 8頁 ① 学校図書館の整備 ② 新型コロナウイルス感染症対応	■大江 道男 議員 …… 12頁 ① 無加温ハウス野菜栽培への取組 ② 国民健康保険税均等割の子ども均等割減免制度
■岡本美代子 議員 …… 13頁 ① 峠の湯びほろ ② 交通安全	

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

こんなことを決めました

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



少子化対策

松浦
和浩
議員

答

問 町内外の高校などに通う生徒に資金支援を行うべきでは

資金支援の考えはないが、様々な学びや体験のできる環境づくりに努めたい

術取得費」「交通費」などの資金支援を行うべきでは。

答 美幌町の未来を

創造する若者たちを含めた「ひとづくり」や「少子化対策」については重要なことと

考えており、「美幌町総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの各種

計画に位置付け、学力向上に向けた取組や総合教育の充実、

美幌高校の充実など、様々な事業を実施しているところ。経済

的理由により進学などが困難な方には生活保護や高校生等奨

学給付金、奨学金などの制度があり、授



業料以外の教育費に対する負担の軽減を受けることができる。

高校教育に対する保護者の負担は重く、子育て家庭に手厚い

支援が必要と認識しているが、国においては、2023年4

月、こども家庭庁を創設し、こどもを誰

一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする体制を整えようとしてい

る。資金支援の考えはないが、国の動向を注視するとともに、国と地方の役割を考慮し、様々な学びや体験のできる環境づくりに努めてまいりたいと考えている。



問 美幌町基金条例の中で「ふるさとづくり基金」が設置されており、設置の目的として「豊かで活

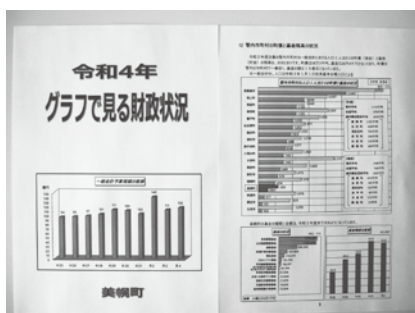
力あふれる本町の発展を図るための個性

的かつ魅力的なまちづくり事業」とある

が、「まちづくり」には「ひとづくり」

答 事業に対する「ふるさとづくり基金」の財源充当は可能と考えている。しかし、基金は潤沢にあるわけではないため、充当事業の選定にあたっては事業効果をしっかりと見定めて判断していきたいと考えている。

育成」が必要と思われるので、資金支援に「ふるさとづくり基金」を充当しては。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



公共トイレ

問

公共施設の男性トイレにサニタリーボックスの設置は

藤原

公一議員

答

長時間滞在することが想定される施設に
順次設置してまいりたい

利用状況や利用者の
年齢層などを考慮の
うへ長時間滞在する
ことが想定される施
設に順次設置してま
いりたい。

害訓練の考えは無い
か。

利用状況や利用者の
年齢層などを考慮の
うへ長時間滞在する
ことが想定される施
設に順次設置してま
いりたい。

行政が発信する
避難情報を迅速に伝
える必要があり、複
数の情報手段を効果
的に組み合わせるな
ど訓練においても情
報伝達のあり方につ
いて検証を重ねたい。
今回の総合防災訓練
では気象台をはじめ
関係機関から支援並
びに助言をいただく
予定である。



総合防災訓練

防災避難訓練は

問 10月30日には全
町で3年ぶりに総合
防災訓練が行われる
が「課題を見つける
避難行動」の取組は。
また、気象台などの
意見を取り入れた災

避難行動要支援
者の「避難行動支援」
及び「個別避難計画」
への対応は。

避難行動支援は

問 10月30日には全
町で3年ぶりに総合
防災訓練が行われる
が「課題を見つける
避難行動」の取組は。
また、気象台などの
意見を取り入れた災

「個別支援計画
書」をもとに、新た
な「個別避難計画」

問 10月30日には全
町で3年ぶりに総合
防災訓練が行われる
が「課題を見つける
避難行動」の取組は。
また、気象台などの
意見を取り入れた災

「個別支援計画
書」をもとに、新た
な「個別避難計画」

問 10月30日には全
町で3年ぶりに総合
防災訓練が行われる
が「課題を見つける
避難行動」の取組は。
また、気象台などの
意見を取り入れた災

「個別支援計画
書」をもとに、新た
な「個別避難計画」

の策定に向け準備を
進める。移行にあた
っては避難行動要支
援者の同意や避難支
援者の確保など課題
もあることから、地
域の協力が不可欠で
あり、要配慮者情報
を所管する福祉部と
も協議を重ねながら
取組を進めてまいり
たい。

木育について

町民の森整備計画は

問 木を植え、森林
を育てる町民の森の
整備は木育にもつな
がる。「町民の森整備
計画」は。

答 町民の森整備計
画は無いが、町民に
よる森林体験事業と
して、みどりの村で
実施している「赤ち
ゃん誕生記念植樹」
や美幌中学校の生徒
による植樹や枝打ち
体験を行っている。



問 「木育マイスタ
ー」の養成及び周知
の取組は。

答 木育マイスタ
ー養成研修の情報提供
など周知を図ってま
いりたい。引き続き、
木育を普及・推進す
るため、町産材を使
用した木製品を贈呈
する「木づかい事業」、
「木工体験」、林業館
「きてらす」の運営
など様々な取組を推
進してまいりたい。

問 「木育マイスタ
ー」の養成及び周知
の取組は。

答 木育マイスタ
ー養成研修の情報提供
など周知を図ってま
いりたい。引き続き、
木育を普及・推進す
るため、町産材を使
用した木製品を贈呈
する「木づかい事業」、
「木工体験」、林業館
「きてらす」の運営
など様々な取組を推
進してまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



駐屯地問

陳情内容や看板など今後の期成会の活動は

戸澤
義典 議員

答

看板及び懸垂幕の更新を順次行い、編成完結に向けた諸行事支援などに取り組んでまいりたい



隊区内2市8町が求めてきた即応機動連隊の誘致はこれまでの陳情活動と地域の想いが評価・反映されたものと受け止めている。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により不安定三正面の一つである北日本正面の脅威はこれまで以上に懸念されるところであり、ロシアとの国境に接するオホーツク圏にとつては常に動向の把握や監視体制の強化が必要と強く感じている。改編される第6即応機動連隊（仮称）の人的基盤の充実など即応力・対処力を高めるためにも充足率の向上と配備される装備品の完全充足について引き続き要望していく。今後の期成会の活動については美幌駐屯部隊の活動を支える町民の気運の高揚を図るため、看板並びに懸垂幕の更新を順次行い、編成完結に向けた諸行事支援などに取り組んでまいりたい。

問 第5旅団の機動旅団化を見据えて「第6普通科連隊を第6即応機動連隊へ」の陳情成果が実を結び、令和5年3月に第6普通科連隊が第6即応機動連隊へと改編される予定である。陳情成果の思いと陳情内容や看板など今後の陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会の活動は。

答 美幌町をはじめ



物価高騰対策支援事業

水道光熱費への支援策は

問 新たな変異株の出現など、新型コロナウイルスの終息が見通せない中、経済が疲弊し、ロシアによるウクライナへの武力侵攻などもあり、原油価格や物価が高騰している。電気料金の値上げに伴い、公共施設に係る電気料金の増額補正を予定されるなど電気料金などは生活困窮者以外の一般世帯へも影響を及ぼしている。他自治体では家計への経済的負担を少しでも軽減するため水道料金の基本料金を数ヶ月分免除しているところもあるが、水道光熱費などに対する支援は。

答 水道光熱費に対する支援策として新

型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し水道基本料金の免除を実施している市町村があることは認識しているが、水道料金は家庭ごとに賦課していることから、基本料金の免除を行った場合、世帯人数に応じた幅広い支援とはならないため水道料金の免除については考えていない。原油価格・物価高騰に対する支援として、高齢者世帯や子育て世帯に対し重点的な支援を行っているところであるが、一般世帯への光熱水費に対する支援は今後の状況を見ながら引き続き検討してまいりたい。

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



学校図書館

馬場

博美議員

答

問

図書の更新計画及び図書整備計画は

限りある予算の中で各学校の要望を踏まえ
更新・整備を図ってまいりたい



書館廃棄規準を参考に
に廃棄している。限
りある予算の中で各
学校の要望を踏まえ
更新・整備を図って
まいりたい。

新聞配備は

問 町内では小学校
1校あたり2紙、中
学校1校あたり3紙
を配備すべきでは。

答 全校3紙配備に
向けて取り進めてま
いりたい。

問 各学校に司書を
配置することによつ
て学力の向上につな
がると考えられるこ
とから、町内各小中
学校に学校司書を常
駐配置すべきでは。

答 当面は小学校週
学校司書の配置は
配置することによつ
て学力の向上につな
がると考えられるこ
とから、町内各小中
学校に学校司書を常
駐配置すべきでは。

1回、中学校週2回
の巡回体制を維持し
ながら小学校の巡回
回数を週2回に増や
すことや将来的には
常駐化も検討したい。



施設整備は

問 各小中学校図書
館は、夏は非常に暑
く、狭いため授業が
できないなどの状況
にある。適切に施設
整備をすべきでは。

答 施設の老朽化が
進んでおり狭隘にな
りつつあることから
できる限りの施設整
備を図ってまいりた
い。

コロナ感染症対応

臨時交付金について

問 ①令和2年度か
ら令和3年度までの
92事業の評価は。

②町民アンケートな
どを実施して今後の
対策を講じては。

③所得税法で障害者
控除が認められてい
る障害者控除対象者
認定書を交付した要
介認定者は、高齢
者世帯等生活支援扶
助の交付対象者の障
がい者世帯に該当さ
せるべきでは。

④プレミアム商品券
発行事業を継続する
考えは。

⑤新型コロナウイルス対応地
方創生臨時交付金が
追加交付された場合
の対応は。

答 ①感染拡大の未
然防止の効果、暮ら
しを支える効果、事
業継続と雇用確保の

効果があつたものと
考えている。

②町民アンケートの
実施は予定していな
いが今後も町民みな
さまの困り感を把握
できるよう努めたい。

③所得税法による障
害者控除対象認定者
は税法上の優遇措置
であり、本事業の対
象要件を満たすもの
ではない。

④関係団体と協議し
ながら状況に応じて
対策を提案したい。

⑤感染症対策本部で
議論を重ね、必要で
あると判断した事業
は議会にご相談のう
え事業化を図りたい。



プレミアム商品券

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



まちの活力

問 今後の移住定住促進の計画は

木村
利昭
議員

答

明確な計画はないが、町民が美幌の魅力を発信することにより人を呼び込み、住み続けることにつながっていくと考えている



問 美幌町の例年の移住相談件数はおおよそ50件であるが、令和3年度は倍以上の121件の移住相談があった。

ふるさと納税も好調で、少しずつであるが美幌町の名と魅力が全国に広まってきていることと思う。

また、今年度中に民間と連携した「移住相談拠点施設」が完成し、移住相談の体制が強化される予定であるが、移住定住促進には相談窓口のような施設や体制も大切であるとともに「移住したい」と思えるような施策も大切であると考えている。

今後、美幌町として移住定住の促進にどれぐらい力を入れていくのか、今後の移住定住促進のための町としての計画や考え方は。

答 美幌町における令和3年度の移住相談件数は最終的に138件となっており、例年の倍以上の相談件数となっている。また、ふるさと納税は、約1万6千件、約1億9千200万円のご寄附を頂いており、美幌町の名と魅力が全国に広まってきていると認識している。

答

移住相談拠点施設は転職なき移住をはじめ多様化する働き方に対応するため、テレワークスペースを整備するとともにカフェ機能を備えた交流スペースを設けて、移住相談者やサテライトオフィス企業、地元住民など、様々な人の交流を通じたコミュニケーション活性化を図るための改修を行い、来年4月1日のオープンを予定している。



移住相談拠点施設

「今後、移住定住の促進にどれぐらい力を入れていくのか、今後の移住定住促進のための町としての計画や考え方」については、移住定住促進計画というような明確な計画はなく、今後においても特化した計画を策定する考えはないが、いかに住み良いまちづくりを進め、町民の満足度を高め、町民一人ひとりが美幌の魅力を発信することにより、人を呼び込み、そこに住み続けることにつながっていくものと考えている。

美幌町は来年の4月1日に町制施行100周年を迎えることから、町への愛着や誇り、まちづくりへの参画意識を高める取組などを実施する予定である。あわせて美幌町を紹介する動画などの作成も検討しており、積極的に情報を発信することで、移住定住促進につなげてまいりたい。



移住定住ガイドブック

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



教育行政問

小中学生の視力低下対策は

坂田

美栄子 議員

答

リーフレットの配付や眼科での受診を勧める
文書を送付するなどの対策を講じている

問 令和4年7月13日に文部科学省が公表した「令和3年度学校保健統計調査結果」によると、裸眼視力「1・0未満」の割合は年齢が高くなるにつれて増加傾向となっており、小学1年生で4人に1人、小学3年生で3人に1人、小学6年生で約半数、中学生では約6割と毎年過去最悪を更新している。視力低下はスマ

ートフォンや携帯ゲームの普及とコロナ禍で外出機会が減ったことでスマートフォンなどが長時間見ることが一因とみられている。学校と家庭が連携した対応が必要と考えるが、美幌町の現状と課題は。

答 昨年度からのIGAスクール構想によるタブレット端末の 본격的な活用もあるため、家庭ではタブレット端末を30分間使用したら20秒以上遠くを見ることなどを記載したリーフレットを配付することや、眼科検診により視力低下であった場合は、結果通知に眼科での受診を勧める文書を送付するなどの対策を講じている。視力は低下すると回復は困難であることが多いため、今後とも目の健康の大切さを児童生徒に伝え、家庭と連携しながら視力低下対策に努めてまいりたい。



問 不登校の児童生徒数は平成13年度をピークに全国的に減少傾向を示していたが、平成25年度から再び増加に転じ、この3年間では毎年約2万人ずつ増加している。最初に学校に行きづらいつと感じたきっかけは「先生のこと」「身体の不調」「友達のこと」がそれぞれ3割近くを占めているが、不登校の背景は多岐にわたっている。美幌町では教育相談員、不登校問題相談員、スクールカウンセラーが配置されているが、美幌町における不登校児童生徒の現状と課題は。

答 悩みを抱えた児童生徒に対し少しでも気持ちよくなるよう教員が親身になって相談対応をすることや教育専門相談員・スクールカウンセラーの配置により相談しやすい環境づくりを心がけている。また、美幌町では初となる民間のフリースクールが今年開設され、教育機会の確保の選択肢が一つ増えたものと考えている。今後も地域の子どもたちの不安を少しでも取り除き、安心して学び、自信を持って成長していけるよう、官民一体となり、一人ひとりに寄り添った取組を進めたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



宿泊施設

問

宿泊施設誘致個別条例としなかった理由は

図書館整備基本構想

複合化施設の課題は

上杉

晃央議員

答

美幌町企業立地促進条例の制定により雇用増を基準とする助成まで優遇措置が拡充される



問 令和4年9月定例会に正式に美幌町

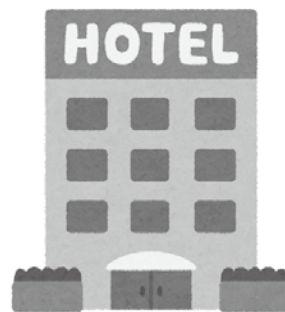
企業立地促進条例（案）が提案されている。9種類の施設

のうちのひとつが宿泊施設を助成対象とされているが、個別誘致条例が望ましいとされているのか。宿泊施設誘致は町にとって重要な課題であり、今回の美幌町の積極的な

誘致の取組を評価している。しかし、大きな規模での宴会機能ができない現状から多くの団体や町民より一定規模で宴会機能のある施設が必要との声が寄せられている。町として宴会機能を持った施設誘致への取組は。

答 今回進出している

ただける企業は美幌町からの情報提供により自ら進出を判断していたとのこと。宿泊施設の新設・増築に対する優遇措置は「美幌町企業立地促進条例（案）」が制定されることにより雇用増を基準とする助成まで優遇措



置が拡充される。また、美幌町に必要な

機能を有する宿泊施設を整備しようとする事業者が現れた場合は別途支援策を検討してまいりたい。宿泊施設誘致の中ではバンケットホール整備に対する優遇措置は考えていないことから、既存施設の利用をお願いしたい。

問 今後、公共施設を整備する場合は可能な限り複合化を積極的に検討し、町民の利便性を図ると

もに、建設コストや維持管理費の削減をすべきと考えるが、例えば宿泊施設に不足する宴会機能施設を取り込んだ複合化などの可能性も検討してはと考えるが、現状の課題は。また、美幌町では主要な公共施設の整備が進み、今後の図書館整備の機会を逃すと複合化の可能性は限りなく期待できなくなるのでは。

答 図書館の複合化施設は「学び」を主体とする施設が望ましいと考えるが、現状では改修周期や建



図書館

替周期が図書館の整備時期と重なる公共施設は見当たらない。今後、町では公営住宅以外の建設や改修などの整備計画は持ち合わせておらず、現時点において図書館と合築させる公共施設は無い状況にある。単独での整備も止むを得ないと考えるが、町民みなさんの居場所としての機能の複合化は整備検討委員会から必要であると感じる意見をいただいております、引き続き検討してまいりたい。

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



農業振興 問

冬季ハウス野菜栽培の課題は

大江

道男議員

答

アスパラガス伏せ込み栽培に使用する根株の安定生産に向けて継続して取り組む



問 「冬姫」を含め美幌町における冬季ハウス野菜などの栽培状況と課題は。

答 令和4年度におけるアスパラガス伏せ込み栽培戸数は8戸で栽培株数は過去最多の2万1千500株となっており、過去最多の生産量となった平成29年度を上回る生産量を見込んでいる。伏せ込み栽培は使用する根株の生育状況によって

収量品質に大きく影響することから、根株の安定生産技術の開発に継続して取り組んでいる。アスパラガス以外の冬季栽培作物についてJAびほろに確認したところ無いと伺っている。

問 冬季無加温ハウス野菜栽培を積極的に検討すべきと考えるが「栽培技術の習得・研修」「ハウス構造の強化」「市場開拓・確保」などの課題をクリアしなければならぬ。みらい農業センターを持つ美幌町が道内の先頭に立って課題を克

服し普及に当たるべきでは。

答 道内のいくつかの地域で導入されている冬季無加温野菜栽培の多くは特産品のトマトなどを9月頃まで収穫した後に新たに葉物野菜を播種して1月から2月に収穫する作型であり、美幌町の営農体系に当てはめた場合、9月から10月は地域基幹作物の収穫作業や秋まき小麦の播種作業と重複することから、冬季栽培の葉物野菜導入は現実的ではないと考えるが、地域の営農体系を十分考慮した中で生産者や関係機関の意見

を伺いながら有望な新規作物について調査研究したい。



国民健康保険税

子ども均等割減免制度は

問 収入のない子どもにも大人と同等に課税する均等割は古来の人頭割と同様であり廃止をとの声を多く、全国的に子ども均等割減免制度が広がっている。子育て支援アピールとして国民健康保険基金を活用した18歳未満

の子ども均等割減免制度を制定しては

答 北海道では令和12年度に被保険者の負担の公平性から全道統一保険料率の導入を目指しており、美幌町が独自に減免制度を設けることは難しい状況である。国保基金は北海道に納める納付金の不足額に対する調整財源や今後の統一保険料率の導入に向けて生じる負担や激変緩和措置に対する財源として活用するため、国保基金を活用した制度拡大は慎重にすべきと考えている。

問 美幌町が18歳未満児の均等割を全額免除した場合の税負担額は。

答 概算で910万円の見込みである。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



峠の湯問

町民の健康作りのために電気風呂を設置しては

岡本

美代子 議員

答

費用対効果を含めて難しいと考えている

効果を含め難しいと考えている。

太陽光の利用は

問 燃料費の高騰や

脱炭素社会の確立に

向け、峠の湯びほろ

にソーラーシステム

を取り入れる調査研

究をしては。

答 屋根に設置する

場合は施設の耐久性

が懸念され、敷地内

に設置する場合は利

用者に支障が生じな

いよう設置スペース



峠の湯びほろ

交通安全

信号機の撤去について

問 大正橋から道道

122号に向かうT

字路の交差点にあつ

た信号機が撤去され

たが、以前より危険

になったのではない

かとの町民の声を聞

く。信号機の撤去に

際して町に何らかの

相談はあつたのか。

また、信号機の設置

要望などを行うべき

では。

答 令和元年に警察

署から老朽化や災害

に強い交通環境の確

立のため一灯滅信

号機を撤去し、一時



一時停止標識

停止標識を設置したいとの提案があつたことから、美幌町交通安全推進委員会などに説明のうえ定期信号機の設置を求める要望書を提出した。美幌警察署から定期信号機を設置することと北見市から大正橋方向に右折する車両による渋滞が懸念されることなどから定期信号機の設置は困難であり、一時停止標識の設置が妥当であるとの見解が示され、令和3年10月に撤去された。

撤去後はL字型の支柱の上部に大型の一時停止標識も設置されるなど要望が反映された対策を講じていただいたところ。改めて要望書を提出する考えはない。

踏切の雑草について

問 国道39号美禽橋

付近から道道122

号に入ったJRの踏

切は、夏以降になる

と雑草が伸びて一時

停止しても見通しが

悪い。JR北海道に

適切な維持管理の要

望を行うべきでは。

答 町に報告いた

いた場合にはすみや

かにJR北海道に連

絡し、迅速に対応を

いただいている。ご

指摘の踏切について

も町で現場を確認の

うえ連絡し、草刈り

を実施していただく

予定である。

こんなことを決めました

7月臨時会

すべて原案どおり承認、可決しました。
主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

◆令和4年度一般会計補正予算（第4号）

211万7千円

美幌峠レストハウス展望休憩室屋外階段等修繕のため急を要し専決処分をしたことを承認しました。

補正予算

◆一般会計

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した6事業

2億3,256万9千円

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

500万円

・エコハウス維持管理用備品購入費

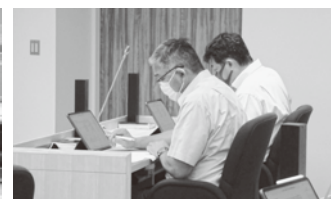
68万2千円

タブレットを使用した議会が始まりました

令和4年5月1日発行（No.244）びほろ町議会広報でお知らせしておりました会議（文書共有）システム及びタブレット端末が、8月17日、議員に貸与され、9月定例会から本格的に運用が開始されました。

紙資源の環境に配慮するだけでなく、コロナ禍や災害時のリモート会議での使用など、あらゆる議会活動で利用することを目的としています。

今後もさらなる議会運営の効率化を目指すとともに、議会のデジタル化により情報共有と発信を強化し、町民のみなさまとの懇談などにおいても積極的に活用してまいります。



9月定例会でタブレットを操作する議員

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

12月定例会は12月6日（火）頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

**9月定例会の傍聴者は5名でした。
みなさまの傍聴をお待ちしております。**

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。
美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。

QRコードからアクセスできます
こちら→



美幌町議会 ホームページ閲覧件数

月日	会議名	閲覧件数
5月11日	第4回臨時会	90
6月21日	第5回定例会 第1日	263
6月22日	" 第2日	228
6月23日	" 第3日	234
7月19日	第6回臨時会	82
9月13日	第7回定例会 第1日	156
9月14日	" 第2日	252
9月15日	" 第3日	195

議会運営委員会
委員長 馬場 博美
副委員長 戸澤 義典
委員 岡本美代子
委員 上杉 晃央
委員 高橋 秀明

▼町民に開かれた議会を目指し、その一環として9月定例会からタブレットを導入しております。今後も町民のみなさまの声を聴き、開かれた議会を目指し議会改革に取り組んでまいりますので、よろしく願います。
（博美）

▼8月29日に開催を予定していました議会報告会・意見交換会を中止しましたが、今後、感染状況をみて開催したいと考えていますので、多くのみなさまの参加をお願いします。

あ と が き

▼新型コロナウイルス感染症拡大が始まってから今年で3年目を迎えますが、美幌町内においても未だに感染拡大が続いております。